

BIMの日2018シンポジウム

「BIMはどこを目指すべきか ―他産業に学ぶ―

<主催> 日本建築学会 情報システム技術委員会 設計・生産の情報化小委員会

<後援>(予定) 空気調和・衛生工学会、日本ファシリティマネジメント協会、
buildingSMART Japan、建築保全センター

当小委員会は設計・生産における ICT 活用の状況を調査するとともに、これを取巻く職能・職域、組織といった周辺環境について調査研究を進めてきた。午前の部では、BIM の標準化を推進するために実施された設計コンペ「Build Live Japan 2017」を通して得られた BIM プロジェクトの課題と可能性を議論する。午後の部では、WG の活動報告とともに BIM のキーワードである『連携』を題材としてディスカッションする。また ICT により変革を遂げている他産業を参考に、建築が向かうべき方向を議論する。

日時	2018年2月20日(火) 9:30~17:50
会場	建築会館ホール(東京都港区芝 5-26-20)
定員	250名(申込み先着順)

	総合司会	飯島憲一(安井建築設計事務所) 猪里孝司(大成建設)
9:30~ 9:35	主旨説明	
9:35~12:00	第1部 Build Live Japan の目指すべき先には(仮)	
12:00~13:00	昼食休憩	
13:00~15:00	第2部 設計・生産の BIM 円卓会議「連携が変革を導くか」 つなぐ BIM、連携/関係、IPD/プロセス、精度、設計、建築生産など小委員会での テーマを多面的に議論する。 コーディネーター：猪里孝司(前掲) パネリスト：安井謙介(日建設計)、大越潤(大成建設)、上嶋泰史(U's Factory) 平島ゆきえ(ARUP)、森下有(東京大学)	
15:00~15:15	休憩	
15:15~17:45	第3部 パネルディスカッション「他産業に学ぶ情報化の将来」 造船・自動車・医療等の各関連分野のパネリストに登壇いただき、各産業が情報化に よってどのような変化があったのか。ものづくりの将来は? そして、建築がどうかわ っていくか、どう変わっていくべきかを議論する。 コーディネーター：倉田成人委員長 パネリスト：横山喜克(キャノンメディカルシステムズ)、柳孝裕(OTSL) 浜田顕弘(三菱重工)、能勢浩三(竹中工務店)	
17:45~17:50	まとめ	種田元晴(東洋大学)

参加費(資料代含む)： *当日会場でお支払いください。
日本建築学会会員 2,500円、後援団体会員 3,000円、会員外 3,500円、学生 2,000円

申込方法： WEB 事前申込み 日本建築学会 催し物・公募一覧
▶ <https://www.ajj.or.jp/event/detail.html?productId=613258>

問合せ先： 日本建築学会事務局 事業グループ 伏見 Tel. 03-3456-2057